

闘え!商大

商大スポーツ

FREE

バレーボール部 春季リーグ

優勝

58 度目



チーム一丸での勝利!!

西日本選手権大会はベスト8

「今年こそは優勝」と自信を持って臨んだ西日本大「今年こそは優勝」と自信を持って臨んだ西日本大。順調に勝利していたが、愛知大学との一戦で敗れベスト8にとどまった。愛知大学は今季東海リーグ、東海インカレを制した強豪だが、ノーシード校。ベスト4に関西勢が入らない波乱含みの大会となった。

昨年春季リーグ戦も優勝を果たした大商大。しかし秋季は4位と低迷した。大商大は、波に乘れないう試合、選手の間にストレスがたまっていた。結局、つぎつぎと試合をこなしていった秋季リーグ。それは4位という結果にもあらわれた。しかし、春季リーグ開始早々から何かが違っていた。初戦を昨季1位と敗れた甲南大に3-0であっさり勝利すると、立命館大、大商大、大商大と第4戦までを矢張りとなしのストレートで勝利していった。その後も勝利を続け、関学大に1敗



- 個人賞
- 【最優秀選手賞】 越猪 竜之介 (商学4年) (鎮西高)
 - 【スパイク賞】 天本 智茂 (商学4年) (九州産業大学付属九州産業高)
 - 【セッター賞】 須藤 竜太 (公営3年) (岡谷工業高)
 - 【最優秀監督賞】 中嶋 英喜

5月15日(土)に開催された第56回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会において、入来商業高(公営3年)の「下原玄大(公営3年)」(入来商業高)が、現川崎修館高)が、全国的に優勝し、念願の全国初タイトルを手に入れた。なお、超絶で、この記録は自己ベストの記録より、8回の試技を全て成功させて優勝をつかんだ。高校生の選手時代とも合わせて、「日本二」は初のタイトルで、「日本一」は嬉しい。迫り立つ場から迫られる立場に変わること、以前よりも刺激と励みを感じて練習できている」と語る下原。次なる目標は、全日本学生選手権(パワートン)から、全日本選手権(マッスル)と闘っている。

目指すは社会人でもNo.1!!

そのとーり!!



ウエイトリフティング部 全国大会制覇

初の関西選抜では4階級制覇、大会新記録も!

ウエイトリフティングを知っていますか?

ウエイトリフティングは体重別に階級分けされており同じ階級内で記録を競う競技です。種目は「スナッチ」と「クリーン&ジャーク」の2つがあり、それぞれ3回ずつの試技を行い、各種目の最高重量の合計(トータル重量)で順位が決まります。3回と回数が決まっているので、何回目にどのくらいの重量を上げるかというのは、そのときの本人の調子や同じ階級の別の選手の結果などを考慮して随時試技前に決められています。その駆け引きの様子がウエイトリフティング競技の醍醐味です。

■スナッチ

地面に置いたバーベルを一気に頭上へ上げ立ち上がる方法。

■クリーン&ジャーク

地面に置いたバーベルを一旦肩まで引き上げて立ち上がり、その後頭上へ押し上げる方法。

ウエイトリフティング部戦績

「第7回全日本学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」

62kg級	3位	山本 健晴 (経済4年) (小浜水産高)
-------	----	----------------------

「第56回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会」

56kg級	準優勝	文屋 紀彦 (商4年) (倉敷商業高)
56kg級	失格	丹下 雄介 (商2年) (倉敷商業高)
62kg級	失格	山本 健晴 (経済4年) (小浜水産高)
69kg級	優勝	下原 玄大 (公営3年) (入来商業高)
94kg級	4位	松原 寛佳 (経営4年) (土岐商業高)

「第70回全日本ウエイトリフティング選手権大会」

62kg級	6位	山本 健晴 (経済4年) (小浜水産高)
-------	----	----------------------

「第25回関西学生選抜ウエイトリフティング選手権大会」

56kg級	優勝	丹下 雄介 (商2年) (倉敷商業高)
62kg級	優勝	山本 健晴 (経済4年) (小浜水産高)
	3位	文屋 紀彦 (商4年) (倉敷商業高)
69kg級	優勝	下原 玄大 (公営3年) (入来商業高)
72kg級	2位	下原 卓朗 (公営1年) (川崎修館高)
85kg級	2位	麻生川 嶺平 (商学4年) (大阪商業大学堺高)
94kg級	優勝	須田 真 (商学3年) (倉敷商業高)
+105kg級	3位	内野 史一 (公営2年) (大阪商業大学堺高)

クラブピックアップ

Pickup-2 陸上部



親しき仲にも
礼儀あり!



×キ×キ!!

今年度、陸上部には9名の新入部員が集まり、現在19名でにぎやかに活動しています。経験者が多いですが、初心者もあり、女子部員も5名いて、近年×キ×キと実力をつけてきているクラブです!

その陸上部を引っ張るのが主将の景山浩規くん(経済3年)と副主将の岡山東商業高。高校時代は野球部で日々汗を流していました。大学に入学すると陸上部に転身。クラブ活動がない日も走りこみや筋トレなど自主練習も確実にこなす努力家で、800mの記録もび、決勝に進むくらいになりました。



おなじみの長瀬です。一緒に汗を流し、一緒に喜びましょう!

新人の山本です。ひとりひとりが目標を達成できるようサポートします!



RYOSUKE TIME
水曜日 16:00~19:00

経験スポーツ/野球
僕の好きな...
「する」スポーツ/野球、スノボ
「見る」スポーツ/ラグビー、サッカーなど何でも
食べ物/チョコレート
テレビ番組/すぽると筋肉/大胸筋
(体の美しさを感じられるから)
言葉/共感(大事にしている言葉です)

DAISUKE TIME
金曜日 16:00~19:00

経験スポーツ/陸上(800m)
僕の好きな...
「する」スポーツ/ボウリング
「見る」スポーツ/ラグビー、サッカーなど何でも
食べ物/カレー
テレビ番組/「あつと」
筋肉/中殿筋(とつても大事)
言葉/あきらめない!

編集後記

こんにちは!
今年の4月からスポーツセンター事務室に配属になった吉田です!久しぶりの大学生、久しぶりのクラブ学生との交わり、初めての大阪商業大学課外活動支援部署での仕事、すべてが新鮮に感じての業務。商大生と接する部署から離れて約15年間の復帰、学友会・体育会本部・文化会本部の学生、そしてそれぞれのクラブ生、時代の流れであろうか、学生の皆が可愛く見えてしまう。商大も変わったが、私も歳を取り変わってしまったのかもしれない。しかし、スポーツクラブを見ているとあらゆる面で大阪商業大学は不撓不屈の精神が受け継がれている。ガンバレ商大生! (よ)



発行 大阪商業大学スポーツセンター
編集 大阪商業大学スポーツセンター
印刷 株式会社日本ビジネスアート

すぽせんNEWS

商大スポーツセンターの旬の情報をお届け!

大商大から 2010 FIFA ワールドカップに参戦!!



2006年7月よりサッカー日本代表GK(ゴールキーパー)コーチとして就任している加藤好男さん(1980年商経学部経済学科卒業)がFIFA南アフリカW杯の日本代表メンバーのゴールキーパーに選出された。このたび南アフリカで開催された「2010 FIFAワールドカップ」に参加されました。加藤さんは1976年本郷高校(東京都)から大商大に入学。在学時代は大商大の全国大学選手権大会優勝に貢献。全日本学生代表としても活躍されました。当時をよく知るチームメイトは「ゴールキーパーが相手ゴールまで届いていた」とその爆発的キック力を称えています。

卒業後は古河電気(現ジェフユナイテッド市原・千葉)に入部。日本サッカーリーグ優勝、アジアクラブ選手権大会の優勝を経験しました。日本全体を熱く熱狂させてくれた今回のワールドカップ。ゴールキーパーの活躍も目立った大会でしたが、陰には様々な苦労もあったかと思えます。大会裏話をいくつか本誌で聞かせていただきます。本誌におつかえ下さい。

全国大会へ壮行会開催

6月4日(金)の昼休み、大学構内にて、「全国大会出場激励壮行会(空手道部・日本拳法部)」が開催されました。これは全国大会へ出場する体育会クラブに対して激励を行い、出場選手の士気の高揚を図るもので、体育会本部による主催で行われました。

体育会本部顧問の大林正憲先生による激励の言葉、体育会本部委員長の激励の言葉の後、出場選手を代表して、



井上主将は「日ごろ対戦できない関東勢との対戦を楽しみにしている」と語り、空手道部の芝田主将は「ここにも負けない練習をしてきた。その成果を見せた」と抱負

を語っていました。終わりには吹奏楽部による激励の演奏があり、壮行会を盛り上げていました。

この壮行会は今後も全国大会出場クラブに対して行われます。

スポーツセンターは大商大のスポーツ部の魅力を高校生に伝えるべく、高校生向けクラブガイドとも言える「College Sports 2010」大学スポーツの魅力を紹介しています。これは大商大の強化クラブを中心に、大学でスポーツを続けることの意義や利点、楽しみについて書かれたもので、大商大スポーツ部の魅力がたっぷり詰まった冊子となっています。

また、全国的にクラブ活動生が減少していることに憂慮し、それに歯止めをかけるべく、ベースボールマガジン社の発行する雑誌へ広告を掲載、希望者には無料で配布するなど、大々的に大学スポーツの魅力を発信しています。

高校生向けクラブガイド、関西の高校すべてに配布



商大スポーツ復活論

商大スポでは、闘う大商大生に送るメッセージ、「商大スポーツ復活論」を連載しています。今回も必修です!! (但し出席は取りません) ぜひクラブ活動の参考にしてください。

アスレチックトレーナー 長瀬亮昌 山本大輔

すぽせんMVP

第5回

人のために役に立つことを見つけてほしい

大商大ウエイトリフティング部OB
五百藏正和さん
(2008年卒)

大商大から世界へ!

今回は、全日本2連覇を果たした偉大な0日選手をとりあげます!

5月28日(金)、全日本ウエイトリフティング選手権62kg級で優勝し、昨年に引き続き2連覇を果たした五百藏正和(いおろ)はまさか選手権に優勝し、全日本2連覇を達成した。大阪府信用金庫に勤めながら競技を続け、本学ウエイトリフティング部の宮下日出海監督の指導をあおぐため大商大で週5日間の練習をこなしています。

先日の全日本選手権とするもの。ウエイトリフティング部だけでなく大商大の体育会系のクラブのみならず、みなさんにも言いたいことですが、もっとがんばって大商大の名前をPRしてもらえたら嬉しい。

「目標としていた記録、トータル280kgには届かなかった」と悔しい表情を浮かべた五百藏正和。しかし全日本2連覇を果たした偉大な先輩から後輩たちも刺激を受けているようで、「五百藏先輩が目標」と語る学生も少なくありません。「大学のクラブは自ら率先してやる」とするもの。ウエイトリフティング部だけでなく大商大の体育会系のクラブのみならず、みなさんにも言いたいことですが、もっとがんばって大商大の名前をPRしてもらえたら嬉しい。

今後の目標はロンドン五輪に出場し、メダルを狙うこと。恩師宮下監督の「俺の成績(オリンピック)4位入賞」を越えてほしい」という言葉を胸に、今日も大商大ウエイトリフティング場で汗を流しています。

